

2008年(平成20年)5月28日(水曜日)

辰巳ダム発言で 原告団長ら抗議

宇野県議近く回答

二十三日の石川県議会土木企業委員会で、宇野邦夫委員(新進石川)が辰巳ダム(金沢市)事業認定取り消し訴訟に関し、個人を攻撃する過激で不適切な発言を行ったとし

て、訴訟原告団の下郷稔、碓山洋両共同代表が二十七日、県議会内で宇野氏に抗議した。宇野氏は近日中に文書で回答すると伝えた。下郷氏らは、宇野氏が土木委で元県職員の下郷氏と特定できる経歴に触れ、県OBが原告代表になったことによる「不快感を示し」「石川からたたき出せ」などと不適切な表現を使ったと主張した。

下郷氏は「事実誤認に基づく個人攻撃。表現も品性を欠く」と指摘。碓山氏は「元県職員に關係なく、個人が問題の公共事業に反対する権利はある」と発言撤回を求めた。

宇野氏は一部に過激な発言があったと自覚したため委員会終了後、議会事務局に議事録削除を求めたと説明。記者団に「行き過ぎた発言があったことを認め、文書で回答する」との考えを示した。下郷氏らは正木明・県議会事務局長に宇野氏への懲罰を要請。ただ懲罰動議は委員会終了後三日以内と規定があり、手続き上は不可能という。この問題で尾西洋子県議(共産)らも同日、議会事務局に、議長らを通じ宇野氏に発言撤回を要請するよう申し入れた。

宇野県議の委員 会発言に抗議

辰巳ダム訴訟原告団

辰巳ダム事業認定取

消訴訟原告団の下郷稔、碓山洋両共同代表は二十七日、二十三日の県議会土木企業委員会で宇野邦夫県議(新進石川)が不適切な発言をしたとして、県議会で宇野氏に発言撤回や謝罪などを求めた。委員会では宇野氏は、県が計画する辰巳ダムの建設推進を訴えた中で、元県兼六園管理事務所長の下郷氏がダム建設に反対する原告団の共同代表に就いたこ

とについて、下郷氏の名は挙げなかったが疑問を呈し「石川県から叩き出せ」などと述べた。

宇野氏は記者団に「過激な発言があった」と思い、委員会後すぐに不適切な部分の議事録からの削除を議会事務局に申し出た」と述べた。申し入れには近く文書で回答し、紐野義昭県議会議長らにも説明する。

碓山氏らは紐野議長あてに厳格な対処を求め、元県兼六園管理事務所長の下郷氏がダム建設に反対する原告団の共同代表に就いたこと

2008年(平成20年)5月28日(水曜日)